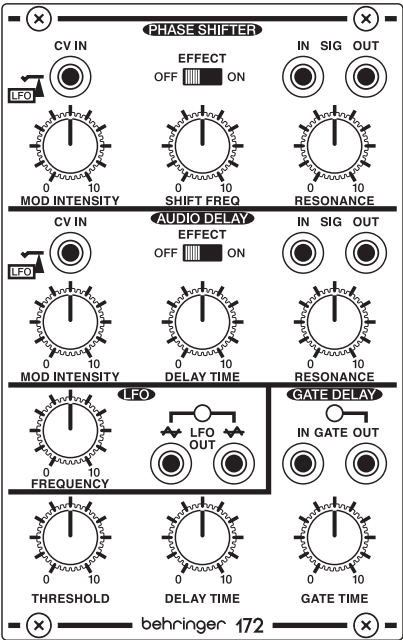




SYSTEM 100
172 PHASE SHIFTER/DELAY/LFO

Legendary Analog Phase Shifter/Delay/LFO Module for Eurorack

JP

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2022 無断転用禁止。

限定保証

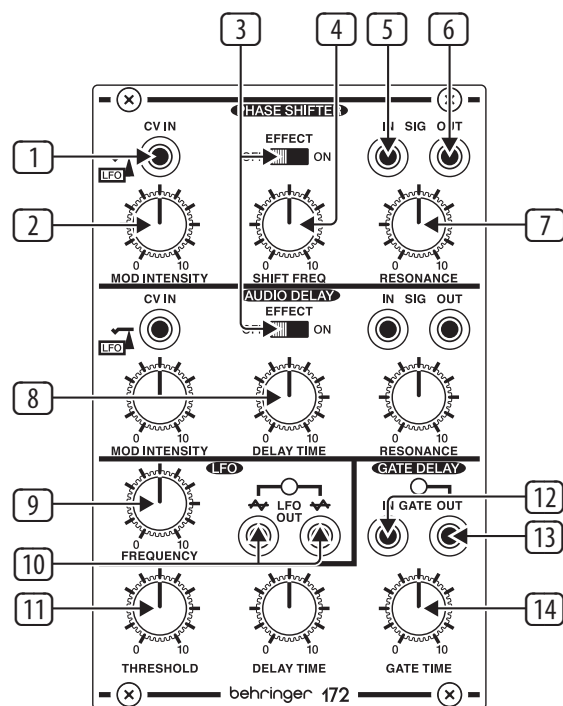
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

JP

SYSTEM 100 172 PHASE SHIFTER/DELAY/LFO コントロール

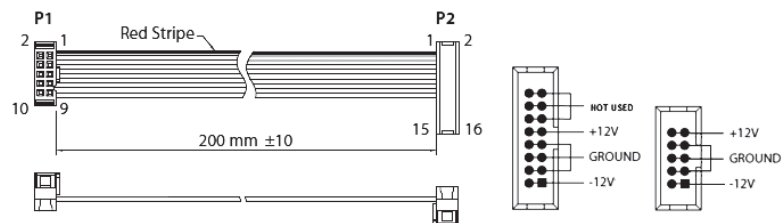
JP

コントロール



- ① **CV IN** – 外部ソースからの電圧を受け入れて、移相器の周波数またはオーディオの遅延時間を制御または変調します。ジャックが挿入されていない場合は、LFO を使用してエフェクトを変調できます。
- ② **MOD INTENSITY** – LFO または外部 CV 入力によってエフェクトがどの程度モジュレートされるかを制御します。
- ③ **EFFECT ON/OFF** – エフェクトセクションをオンまたはオフにします。
- ④ **SHIFT FREQ** – 移相器の周波数を調整します。
- ⑤ **SIG IN** – 3.5 mm TS ケーブルを介して着信信号を受け入れます。
- ⑥ **SIG OUT** – エフェクトセクションから信号を送信します。
- ⑦ **RESONANCE** – エフェクトを介してフィードバックされる信号の量を調整します。
- ⑧ **DELAY TIME** – ディレイエフェクトの時間を調整します。
- ⑨ **FREQUENCY** – LFO 出力周波数を制御します。
- ⑩ **LFO OUT** – LFO 信号を三角波および逆三角波として送信します。
- ⑪ **THRESHOLD** – ゲートをトリガーするために必要な入力電圧レベルを制御します。
- ⑫ **GATE IN** – 3.5 mm TS ケーブルを介して着信ゲート信号を受け入れます。
- ⑬ **GATE OUT** – 3.5 mm TS ケーブルを介してゲート遅延信号を送信します。
- ⑭ **GATE TIME** – ゲート長を制御します。

電源接続



Connect end P1 to the module socket
Connect end P2 to the power supply

モジュールには、標準の Eurorack 電源システムに接続するために必要な電源ケーブルが付属しています。モジュールに電源を接続するには、次の手順に従います。モジュールをラックケースに取り付ける前に、これらの接続を行う方が簡単です。

1. 電源装置またはラックケースの電源を切り、電源ケーブルを外します。
2. 電源ケーブルの 16 ピンコネクタを電源装置またはラックケースのソケットに挿入します。コネクタにはソケットの隙間に合うタブが付いているので、間違って挿入することはできません。電源装置にキー付きソケットがない場合は、必ずピン 1 (-12 V) をケーブルの赤いストライプに向けてください。
3. モジュールの背面にあるソケットに 10 ピンコネクタを挿入します。コネクタには、正しい方向に向けてソケットと位置合わせするタブがあります。
4. 電源ケーブルの両端をしっかりと取り付けたら、モジュールをケースに取り付けて電源を入れます。

インストール

ユーロラックケースに取り付けるために必要なネジはモジュールに含まれています。取り付け前に電源ケーブルを接続してください。

ラックケースによっては、ケースの長さに沿って 2 HP 間隔で配置された一連の固定穴、または個々のネジ付きプレートをケースの長さに沿ってスライドできるトラックが存在する場合があります。自由に動くネジ付きプレートにより、モジュールを正確に配置できますが、ネジを取り付ける前に、各プレートをモジュールの取り付け穴とほぼ同じ位置に配置する必要があります。

モジュールを Eurorack レールに押し付けて、各取り付け穴がネジ付きレールまたはネジ付きプレートと揃うようにします。開始の途中でネジを取り付けます。これにより、すべてのネジを揃えながら、位置を微調整できます。最終位置が決まったら、ネジを締めます。

技術仕様

入力

移相器信号入力	
タイプ	3.5 mm TS ジャック、AC 結合
インピーダンス	70 k Ω , 不均衡
最大入力レベル	+16 dBu

移相器 CV 入力

タイプ	3.5 mm TS ジャック、DC 結合
インピーダンス	>50 k Ω , 不均衡
最大入力レベル	+10 V
CV 範囲	0 V~+10 V

音声遅延信号入力

タイプ	3.5 mm TS ジャック、AC 結合
インピーダンス	15 k Ω , 不均衡
最大入力レベル	+20 dBu

オーディオディレイ CV 入力

タイプ	3.5 mm TS ジャック、DC 結合
インピーダンス	70 k Ω , 不均衡
最大入力レベル	+10 V
CV 範囲	0 V~+10 V

ゲート入力

タイプ	3.5 mm TS ジャック、DC 結合
インピーダンス	47 k Ω , 不均衡
最大入力レベル	+10 V
CV 範囲	0 V~+10 V

出力

移相器信号出力	
タイプ	3.5 mm TS ジャック、DC 結合
インピーダンス	1 k Ω , 不均衡
最大出力レベル	+18 dBu

音声遅延信号出力

タイプ	3.5 mm TS ジャック、DC 結合
インピーダンス	1 k Ω , 不均衡
最大出力レベル	+18 dBu

LFO 出力

タイプ	2 x 3.5 mm TS ジャック、DC 結合
インピーダンス	1.2 k Ω
最大出力レベル	10 V p-p

ゲート出力

タイプ	3.5 mm TS ジャック、DC 結合
インピーダンス	500 Ω
最大出力レベル	+5 V

コントロール

移相器エフェクトス イッチ	オンオフ
位相シフター mod 強度	- ∞ からユニティゲイン
位相シフト周波数	200 Hz~8 kHz
移相器の共振	最大共振までオフ
オーディオディレイエフ ェクトスイッチ	オンオフ
オーディオ遅延 mod 強度	- ∞ からユニティゲイン
オーディオ遅延時間	1 ミリ秒から 7 ミリ秒
オーディオディレイレ ゾナンス	最大共振までオフ
LFO 周波数	0.02 Hz~10 Hz
ゲートしきい値	0.3 V~5 V
ゲート遅延時間	0.3 ms~6 s
ゲート時間	0.3 ms~6 s

力

電源	Eurorack
現在の抽選	60 mA (+12 V), 60 mA (-12 V)

物理的

寸法	44 x 81 x 129 mm (1.7 x 3.2 x 5.1")
ラックユニット	16 HP
重量	0.19 kg (0.42 オンス)

We Hear You